
日本ロシア文学会会報 第46号 2017年2月

1. 2016年度第66回総会報告 2. 11月・12月理事会関連事項 3. 会員異動
4. 新役員・委員 5. その他 6. 事務局からのアナウンス
-

1. 2016年度第66回総会報告

第66回定例総会・研究発表会は、2016年10月22日（土）、23日（日）の両日、北海道大学で開催されました。10月22日（土）午後開催された定例総会の主な内容は以下の通りです。

(1) 第11回日本ロシア文学会賞表彰

学会賞選考過程について説明があった後、本年度の学会賞を大野斉子氏（著書部門）、竹内ナターシャ氏（論文部門）に決定したことが報告され、大野氏へ望月会長より賞状が贈呈された（副賞は式の後に贈呈された。欠席した竹内氏には後日賞状と賞金が伝達された）。

(2) 議長団選出

北海道支部より岩原宏子氏、東北支部より長谷川章氏、関東支部より古宮路子氏が選出され承認された。

(3) 会務報告

事務局より会員異動（2015年11月～2016年10月）について報告があり承認された（「3. 会員異動」の項を参照）。

(4) 各種委員会報告

各委員長により今年度の活動の報告が行われた。

(5) 2015/2016年度決算および会計監査報告

事務局より2015/2016年度決算案について資料に沿って説明があり、監事2名によって確認済みであることが報告され、拍手で承認された。

(6) 2016/2017年度予算案について

事務局より2016/2017年度の予算案が資料に沿って以下の点を含む説明がなされ、拍手で承認された。

- ・ 15-16年度は会費の納入が落ち込んだため、折を見て督促などの措置を考える。
- ・ 「事務委託料」については16-17年度からの支払いとなる。

(7) 2017年度第67回大会について

2017年度大会は上智大学で行われることが事務局から報告された後、担当校の井上幸義氏より挨拶があった。

(8) 新役員および新委員について

事務局より資料に沿って新役員、新委員（「4. 新役員・委員」の項を参照）が紹介され、拍手で承認された。

(9) その他

望月会長より、2017年度に予定されている4学会合同企画に関する説明があった。また沼野前会長によりICCEES幕張大会報告書の刊行と組織委員会の解散についての報告がなされ、JCREESによる関連出版及び関連企画に関する情報提供がなされた。

2. 10・12月理事会関連事項

10月理事会は10月22日（土）に北海道大学で、12月の理事会は12月18日（土）に東京大学本郷キャンパスで開催されました。主な報告事項および審議事項は以下の通りです。

10月理事会

■会員異動（入会3名、退会3名）——「3. 会員異動」の項を参照。

■2015/2016年度決算について

■2016/2017年度予算案について

■2017年度第67回大会について

■新役員、新委員の選出について

以上は総会報告を参照。

12月理事会

■会員異動（ご逝去1名、入会1名、退会1名）——「3. 会員異動」の項を参照。

■2016年度第66回大会の総括と会計報告

三谷大会組織委員長より、第66回大会全体について総括があった。また望月恒子実行委員長より、第66回大会の運営について総括があり、会場が4つに増えたことなどから予算が当初の予定を超過したことが報告され、実行委員経費の決算が承認された。大賞受賞講演の準備に関し、大賞選考委員会と大会実行委員会の仕事の分担が不明であったために混乱が生じたことが反省点として報告された。

■2017年度第67回大会（上智大学）について

井上幸義大会実行委員長より、第67回大会の準備状況について報告があった。

■日本ロシア文学会が一般向けに行う公開セミナー『“ロシア”の鑑賞法（仮題）』の開催に関する提案が三谷副会長よりなされ、提案通り企画を進めることが合意された。

■望月会長より、勉誠出版『ロシア近代文学大辞典（仮）』の出版計画に関する説明がなされた。中村副会長より、学会として事業に取り組むこと、本事典は日本ロシア文学会（編）とし、企画・編集の主体として「ロシア近現代文学大事典（仮）編纂ワーキンググループ」を設置することが提案され、承認された。

■学会国際枠に関連して、懇親会費の扱い、申請者が増えた場合の対処法、参加者への通知やビザ、宿の手配、学会誌への投稿に付随する問題など、制度の導入に伴う諸問題について議論が行われた。

3. 会員異動（敬称略：2016年1-12月）

ご逝去：生森将人（関西） 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

入会〔氏名（支部：専攻分野／推薦者）〕：恒任翔吾（関東：ロシア語学（アспект）／三谷恵子、楯岡求美）、中野悠希（関西：言語学（統語論・意味論）／中村唯史、服部文昭）、安野直（関東：ロシア文学／八木君人、貝澤哉）、畔柳千明（関東：ロシア文化史、北東アジア史／安岡治子、宮川絹代）、後藤雄介（関東：ロシア語学／匹田剛、前田和泉）、宮内拓也（関東：ロシア語学、言語学／匹田剛、阿出川修嘉）、細川瑠璃（関東：ロシア思想／安岡治子、西中村浩）、神竹喜重子（関東：ロシア音楽史／桑野隆、越野剛）、ムヒナ・ヴァルヴァラ（関東：ロシア語教育、ロシア社会学／井上幸義、村田真一）、渡部直也（関東：ロシア語学、音韻論／西中村浩、安岡治子）、堀江広行（関東：ロシア近代宗教思想／野中進、渡辺圭）

休会：エブセエバ、エレナ（関西）

退会：飯島康夫（関東）、白倉克文（関東）、吉住オリガ（関東）、Ivona Malerova（海外）、清水道子（関東）、カザケーヴィチ、ヴァチェスラフ（中部）、東シャトヒナ、ガンナ（関東）、高木美菜子（関東）

4. 新役員・委員（敬称略。会長以外、任期は2015年全国大会～2017年全国大会）

事務局：野中進（埼玉大学） 任期：2017年4月1日～2019年3月31日

2017年度大会組織委員会 中村唯史（委員長）、井上幸義、村田真一、望月恒子、伊東一郎、前田和泉

2017年度大会実行委員会 井上幸義（委員長）、村田真一、秋山真一、野中進、八木君人、前田和泉
（任期は2017年度大会組織委員会、2017年度大会実行委員会ともに2017年度大会まで）

5. その他

○日本ロシア文学会大賞受賞記念講演 第3回日本ロシア文学会大賞に諫早勇一氏が選出され、11月22日（土）午後北海道大学にて、日本ロシア文学会大賞記念講演「意外性、そして偶然性 ——ロシアへの道——」が行われました。この受賞記念講演は来年刊行の『ロシア語ロシア文学研究』第49号に掲載予定です。また諫早氏の授賞理由、受賞の言葉、業績と略歴は学会ホームページに掲載されています。なお、第4回日本ロシア文学会大賞については、既に推薦受付を締め切っております。

6. 事務局からのアナウンス

○学会はみなさまの会費によって支えられていますので、2016/2017年度分の学会費をまだ納入されていない方々は、納入いただきますよう重ねてお願い申し上げます。なお、振込用紙がない場合には、郵便局振込口座（口座記号番号：00100-7-6507）に直接お振り込みください。

○現在、会費納入状況管理は勝美印刷株式会社に委託しております。納入履歴などご不明な点は勝美印刷（takeuchi@shobix.co.jp）まで直接お問い合わせください。

○2017年度の大会は10月14日（土）、15日（日）に上智大学で開催されます。

○現在、学会ホームページ「新着情報」「学会関連その他の催し（カレンダー）」欄にて、学会内外で行われるロシア語・ロシア文化全般に関する催しについての案内を積極的に掲載しておりますので、適時閲覧して頂ければ幸いです。

○現在、事務局から会員への皆様へのご連絡は、一部を除き一斉メールで行っております。まだ連絡用のメールアドレスを学会事務局までお届け頂いていない会員の皆様におかれましては、事務局アドレス宛に電子メールで、ご自身のメールアドレスと氏名をご送信下さい。

○2017年4月より学会の事務局は下記に移転いたします。どうぞよろしくお願いたします。

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255
埼玉大学人文社会科学部 野中進研究室 気付
E-mail: yaar@yaar.jpn.org;
nonaka@mail.saitama-u.ac.jp

日本ロシア文学会会報 第46号 (2017年3月3日発行)

発行人 望月 哲男 編集人 日本ロシア文学会事務局

〒263-8522 千葉県稲毛区弥生町 1-33

千葉大学文学部 鳥山祐介研究室内

TEL/Fax : 043-290-3762

E-mail: yaar@yaar.jpn.org